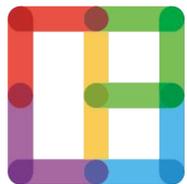
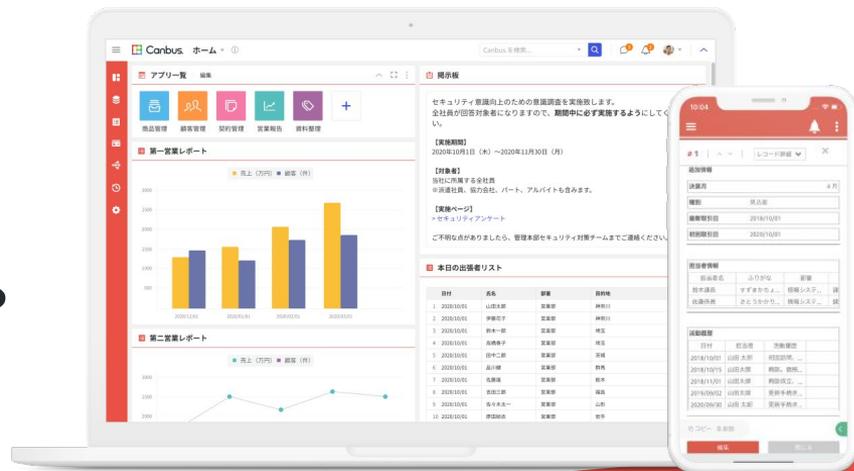


DX推進のための  
ノーコードプラットフォーム



# Canbus.

~最新事例集~



# 目次

1. 事例1) ワークフローとしての利用
2. 事例2) 予実管理での利用（脱Excel）
3. 事例3) プロジェクト進捗・原価管理
4. 事例4) 店舗との情報共有で利用
5. 事例5) 人事評価/面談記録での利用
6. 事例6) 社外との業務フローも安全に実現

# 事例1) ワークフローとしての利用

Excel・紙運用の社内申請をCanbus.に置き換えてテレワークに対応

## 課題

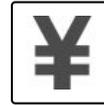
### 導入以前の運用



- ①紙運用なので、記入/送付/収集と運用コストがかかる
- ②テレワークを導入してから申請・承認に時間がかかるようになった
- ③モバイル導入に合わせて、システム化を行いたい



稟議書



経費精算



交通費  
精算



PC利用申請



住所変更



出張申請

など

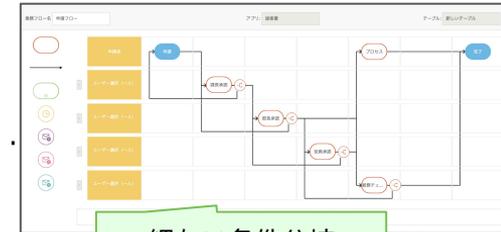
## 解決

80以上のテンプレート

自由に申請  
書作成



印影機能



細かい条件分岐

十分なワークフロー機能を備えているので  
Canbus.のみで申請業務の置き換えを実現

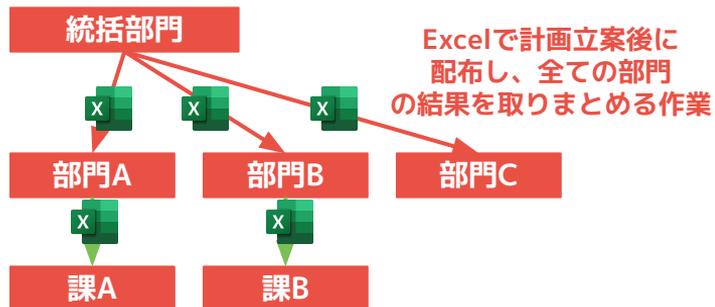
## 事例2) 予実管理での利用 (脱Excel)

Excelで配布・収集・見える化を実施していたがCanbus.で全て実現



### 課題

#### 導入以前の運用



年間の予算計画数字をExcelで配布・収集しているの、

- ①フォーマットの統一がなされていない
  - ②メールでの展開・収集が非効率
  - ③集計が大変
- などの課題があった。

### 解決

1

#### フォーマットの統一

Webのフォームに集約して入力させる運用にできるので、管理側で入力フォーマットを統一が可能

2

#### 通知・アクセス権制御で部門毎の運用

必要な方に必要な情報のみ開示することが可能で、きちんと次のアクションをする方へ通知を飛ばせるため、柔軟な運用が可能

3

#### 集計・分析はグラフ機能で

Canbus.に溜まったデータをレポート機能・グラフ機能で見える化が可能なので、データを集める部分から見る部分まで一貫して運用が可能

## 4.活用事例について

## 事例3) プロジェクト進捗・原価管理

売上数字の管理、原価の管理など複数部署で行っていた業務をDXの観点でCanbus.に集約



## 課題

## 導入以前の運用



営業部独自の  
仕組みで管理

営業部



プロジェクト進捗  
収支状況を管理

開発部門



原価は労務に聞か  
ないとわからない

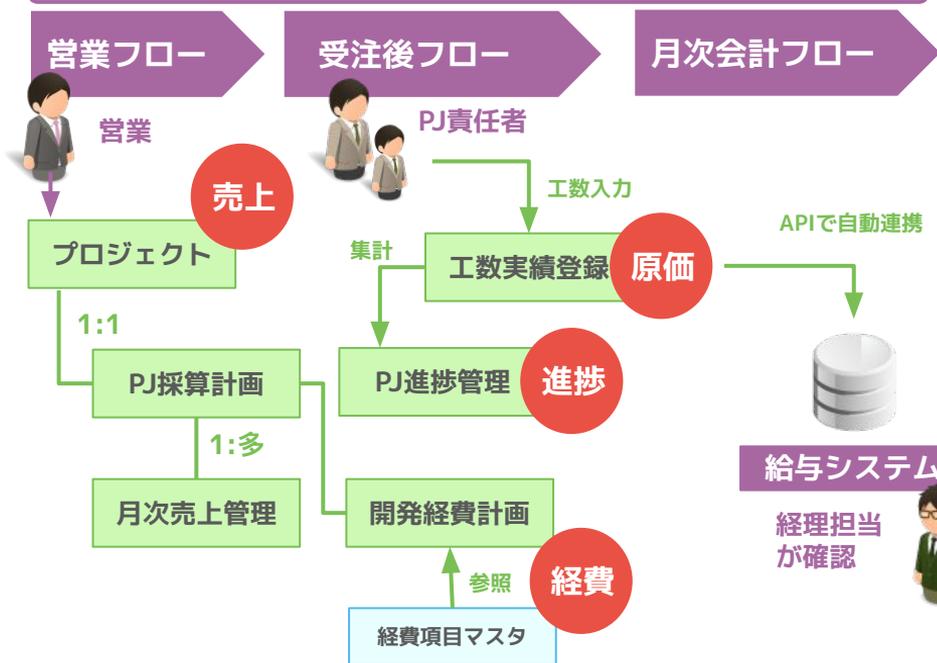
労務

課題：プロジェクトを軸にしたリアルタイムな状況把握が困難

プロジェクトにまつわる情報を各部門の各々の仕組みで実現しているため、収支状況・進捗状況などをリアルタイムに把握できない。

解決

## アプリ全体概要

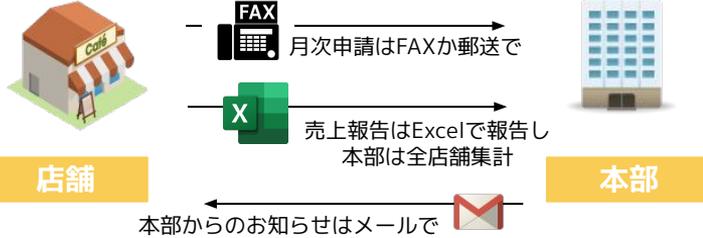


## 事例4) 店舗との情報共有で利用

売上数字の管理、原価の管理など複数部署で行っていた業務をDXの観点でCanbus.に集約

### 課題

#### 導入以前の運用



① アルバイト・パートはユーザー課金でアカウント発行しづらく、紙での運用か店舗共同利用がほとんど。

▶ プライベートな申請があげれない

② 店舗からの報告もExcelベースなので毎月本部側の集計が大変

③ 本部からの通達もメールで個別で、メールを探す毎日

### 解決



スマホアプリから閲覧・登録

ユーザー無制限のため店舗従業員ひとりひとりにログイン情報を用意することが可能

#### 各種店舗業務をCanbus.ひとつで

##### 情報連携 (店舗)

Canbus.  
店舗ポータル

##### 申請系

Canbus.  
各種届出

通勤手当申請

稟議

##### 報告

Canbus.  
売上日報

クレーム報告

##### 人事

Canbus.  
月次面談

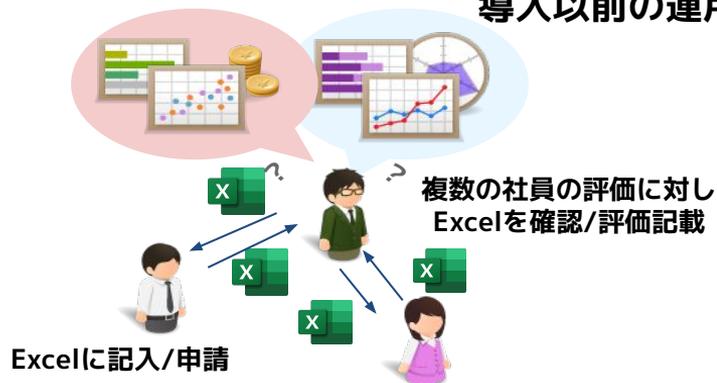
評価

## 事例5) 人事評価/面談記録での利用

Excelで自己評価の記載・レビュー・評価・回覧を実施していたがCanbus.で全て実現

### 課題

#### 導入以前の運用



### 解決

評価シートをExcelで収集しているので、

- ①過去のデータ参照がしづらい
  - ②修正の度にファイルが増えてしまう
  - ③評価状況が確認しづらい
- などの課題があった。



### 1 ファイルのバージョン管理が不要

Webのフォームに集約して入力させる運用にできるので、ファイルのバージョン管理が不要となる

### 2 毎回の評価を社員毎に管理

通年の評価を確認する際は、社員毎にまとまったデータを確認することで、今まで別管理を行っていた情報も自動でCanbus.内に集約が可能

### 3 フォーマットのカスタマイズが簡易化

必要なその他の項目も随時追加及びカスタマイズも簡単に実現

## 事例6) 社外との業務フローも安全に実現

社外の複数企業に対し、紙で収集していた申込書をCanbus.ひとつで解決

### 課題

#### 導入以前の運用



本社

各申込などを紙で収集



合計200社以上

全200社以上の団体から、各種申込やアンケート等を紙・FAXで提出してもらっていた。

申込量・回数が増え効率化の必要性が高まっていた

### 解決

自社



社外  
利用

各社のアクセス権は  
厳密に設定・管理

ワークフロー機能を利用して申請してもらい自社に通知

他社



各団体にライセンスを発行